

1. 件名： OECD/NEA（経済協力開発機構/原子力機関）国際共同研究プロジェクト「燃料デブリ分析に係る予備的考案（PreADES）」の今後の取扱いに関する日本原子力研究開発機構（JAEA）、東京電力等との面談（2回目）
2. 日時： 2020年7月8日（水）13時30分～15時00分
3. 場所： 原子力規制庁 5階会議室
4. 出席者：
 - 原子力規制庁
 - 原子力規制部東京電力福島第一原子力発電所事故対策室 林田管理管補佐、岩永企画調査官、星主任研究調査官
 - 長官官房総務課国際室 後藤補佐、岩本専門職
 - 経済産業省資源エネルギー庁
 - 電力・ガス事業部原子力発電所事故収束対応室 羽田調整官、下里室長補佐、中舘室長補佐、金杉係長、黒澤係長、宇佐見係長
 - （テレビ会議システムによる出席）
 - 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（JAEA）
 - 福島研究開発部門廃炉環境国際共同研究センター 岡本センター長 他3名
 - 安全研究・防災支援部門安全研究センター 副センター長2名
 - （テレビ会議システムによる出席）
 - 東京電力ホールディングス株式会社
 - 福島第一廃炉推進カンパニー
 - 福島第一原子力発電所 燃料デブリ取り出しプログラム部 溝上部長
 - （テレビ会議システムによる出席）
 - 原子力損害賠償・廃炉等支援機構
 - 国際グループ 岡本執行役員 他2名
 - 技術グループ 審議役
 - （テレビ会議システムによる出席）
5. 要旨

OECD/NEA の国際共同研究プロジェクトとして実施されている PreADES の活動について、運営主体である JAEA より追加の情報が提供された。後継のプロジェクトの目的や実施、産学の分野からの要望について議論した。今後の取扱いについては、引き続き議論することとした。
6. その他
 - ・ 配付資料なし